

埼玉県議会議員

# 細川 たけし

●事務所連絡先

〒343-0022 越谷市東大沢2-4-2

電話/FAX 048-971-6566

info@hosokawa-takeshi.com

https://hosokawa-takeshi.com



## ご挨拶

2・3月議会では予算特別委員会が開催され、令和6年度における埼玉県の重点施策等について審議が行われました。今回の予算案は、知事が「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」と位置づけ、一般会計で2兆1,197億4,400万円に及ぶ規模で編成されました。この金額は、新型コロナウイルス関連予算が計上された直近の年度を除けば、過去最大の規模になります。私は予算委員に選出され、企画財政部、農林部、環境部、都市整備部など幅広い部門にわたり主要な施策等に質疑を行いました。審議を経た結果、私が所属する埼玉民主フォーラムとしてこの予算案に賛成を致しました。議会最終日にはこの議案に対し賛成討論を行い、予算案が埼玉県の直面する多様な課題に対し、総合的かつ戦略的に取り組むために編成されていることなどを主張しました。



## 『予算特別委員会の主な質疑応答』

### ●企財財政部

**問** 個人県民税の内訳には配当割と株式等譲渡所得割があるが、最近の日経平均の過去最高更新や新NISAの開始により株式相場の動向が当初予算の歳入にどのような影響を与えるか？

**答** 株式市場の好調を反映して、株式等譲渡所得割は増額見込みである。一方で、配当割については企業の業績と株式市場の直接的な連動がないため、16.2%減の約118億円と減少見込みである。

### ●選挙管理委員会

**問** 令和5年度に埼玉県で行われた県議会議員選挙と知事選挙の投票率がそれぞれ23.76%、34.92%であり、高いとは言えない投票率だった。これらの結果に対する評価や総括は？

**答** 過去最低だった投票率に対し、様々な要因が影響していることが認められる。特に、政治に対する関心が低い若年層の割合が多かった。さらに知事選では暑さの影響もあった。この状況を重く見て、今後は市町村選挙管理委員会と連携し、県民の政治や選挙への関心を高めるための取り組みや、投票しやすい環境の整備、将来の有権者の投票行動を促すような取り組みに努める必要があるとの認識している。

### ●農林部

**問** 農業の後継者不足や新規就農者の減少により人手不足に悩んでいる。埼玉県農林水産業振興基本計画に設定された指標、例えば新規就農者数や農業法人数、農家の生産農業所得の目標についての現状は？

**答** 基本計画の21指標について、令和4年度の数値では、目標値の90%以上を達成した指標が15項目、90%未満で80%以上が2項目、80%未満が4項目である。「新規就農者」と「農業法人」の数値目標は令和3年度・4年度ともに達成しており、順調に推移している。



### ●農林部

**問** 越谷で都市型農業としていちごの水耕栽培に力を入れているが、埼玉県全体として生産量が追いついていない現状がある。今後、埼玉県オリジナルいちごの生産拡大を目指す際の数値目標は？

**答** 生産量の数値目標は設定されておらず、代わりに生産面積に焦点を当てた目標が設定されている。令和9年度までに県育成品種の苗の増産を目指し、90万本の増産を予定している。これにより生産ベースが12.8ヘクタール拡大し、令和9年時点で県育成品種の栽培面積を令和5年の2倍以上の31.9ヘクタールにすることを目標としている。

### ●環境部

**問** 平成24年から始まったシラコバトの生息状況調査で、令和5年の越冬期には生息個体数が17羽に減少している。そして昭和40年から県の鳥として指定されているにも関わらず個体数が減少している理由や、保全対策事業の効果が見られない現状についての見解は？

**答** シラコバトの減少原因について、その小型で飛行能力が低いこと、カラスなどの天敵に狙われやすいこと、また、主な餌場であった養鶏場が鳥インフルエンザ対策によりアクセス禁止となったことが挙げられる。これらの理由から野生のシラコバトが減少している。





●**県土整備部**

**問** 昨年6月の大雨被害を背景に、中川・綾瀬川流域が特定都市河川に指定された。その指定の理由やメリットは？

**答** 埼玉県内で特定都市河川に新たに指定された中川・綾瀬川流域は、24市町を含む約886平方キロメートルに及ぶ。この指定の目的は、雨水貯留浸透施設の整備を促進し、浸水被害を防止・軽減するためである。指定のメリットには、法に基づく計画による事業の国の予算重点化と加速がある。

●**都市整備部**

**問** 「GOGO空心菜」事業では、越谷市の大相模調節池に浮島を設置し、空心菜などの水耕栽培を通じて水質改善を目的とした事業が計画されている。大相模調節池がこの事業の場所として選ばれた理由と、空心菜を使用する理由は？

**答** 大相模調節池が選定された理由は、親水性の向上と水辺での

賑わい創出の取り組みの一環である。また近年アオコの発生が問題となっている状況である。空心菜が選ばれた理由は、アオコの発生原因である窒素・リンを多く吸収し、アオコが多く発生する夏場に栽培に適しているため。

●**下水道**

**問** 共同災害訓練の実施に関して、災害は特定の地域や市町村に限定されず広域に影響を及ぼすため、下水道機能の早期復旧などには県のリーダーシップが重要であると考えているが、災害時における県の役割は？

**答** 令和4年7月の集中豪雨時、県は下水道公社職員を派遣し、日本下水道管路管理業協会と協力してパキュームカーの派遣などの支援調整を行い、施設復旧に貢献した。県は災害時に市町村や組合への支援調整を中心に行う役割を担っている。

**視察**

人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

「株式会社ワントゥーテン」では、AIやXRなどの最先端技術を駆使し、文化とスポーツの振興に向けた革新的なプロジェクトを展開しています。「CYBER SPORTS」プロジェクトは、パラスポーツの魅力をより多くの人に伝えるため、VRやセンサー技術を用いて、観戦や体験の機会を拡大するプロジェクトです。この取り組みにより、パラスポーツへの関心や理解が深まることが期待されます。

「成城大学・スポーツとジェンダー平等国際研究センター」はスポーツを通じてジェンダー平等を推進することを目的とし、女性が自分の意欲と能力に応じて活躍できる社会の実現を目指しています。活動は多岐にわたり、女性のスポーツ参加の促進やトラン



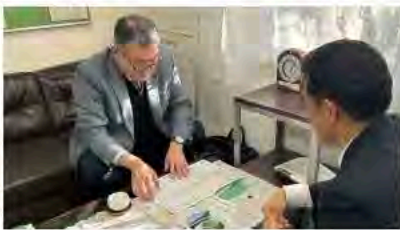
株式会社ワントゥーテン



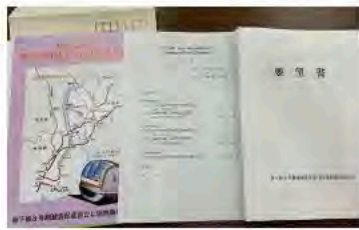
成城大学・スポーツとジェンダー平等国際研究センター

スジェンダー選手の出場規制など、スポーツとジェンダーに関する問題の研究や発信を行っています。

**活動日記**



1月23日  
「埼玉県総合治水事務所」  
県内の河川状況をヒアリング



2月5日  
『東京8号線の早期建設並びに延伸誘致に関する埼玉県知事要望』に出席



2月7日  
「障害者就労訓練施設しらこぼと」を視察



2月10日  
越谷市PTA連合会主催の「文化の集い」に参加



2月11日「大沢地区総合防災訓練」に参加



3月16日  
「越谷市役所新庁舎グランドオープンセレモニー」に出席

細川 たけしオフィシャルサイト▶



Profile

**細川 威 46歳**

ほそかわ たけし

県議会：産業労働企業委員会、自然再生・循環社会対策特別委員会  
会 派：埼玉民主フォーラム  
政 党：立憲民主党

<経歴>

1977年 7月埼玉県浦和市に生まれる  
1982年 越谷市に移住  
1990年 越谷市立弥栄小学校卒業  
1993年 越谷市立北陽中学校卒業  
1996年 獨協埼玉高等学校卒業  
2001年 東海大学工学部卒業  
2003年 (国立)北陸先端科学技術大学院大学修了  
2003年 衆議院議員 細川律夫事務所 秘書  
2007年 越谷市議会議員選挙 初当選  
2011年 埼玉県議会議員選挙 惜敗

・NPO事務局長、運送会社で働きながら政治活動を行う  
2015年 越谷市議会議員選挙 2期目当選  
2019年 越谷市議会議員選挙 3期目当選  
2023年 埼玉県議会議員選挙 初当選

<家族> 妻と子ども（中学生、小学生）  
<趣味> 阿波踊り、野球、育児、痩せないダイエット